

## パラリンピック開幕 共生 今がスタート

「共生社会の実現」を理念に掲げた東京パラリンピックが閉幕しました。自国・無観客開催でテレビ中継の時間が増え、コロナ禍でお家時間が増えたためか、競技の魅力を画面を通して知った人も多いでしょう。私のパートナーは、赤または青の皮製ボールを投げ、白色的球にどれだけ近づけられるかを競う競技「ボッチャ」にたいへん感激したようで、職場（介護施設）でお年寄りにやらせたい、と言っています。

今回のパラリンピックで日本は金 13、銀 15、銅 23 の計 51 のメダルを獲得しました。これは 2004 年のアテネ大会での 52 個に次いで過去 2 番目に多い数だそうです。多くの人が心を動かし、パラスポーツへの関心が高まった今回のパラリンピック。この機運をどのように共生社会の実現に結び付けていくのか。これからが新たなスタートになるのではないのでしょうか。

### 【つかんだ「5年前の忘れ物」 道下、うれし涙の金メダラー—陸上】

「5年前の忘れ物を取りにいこう」。そう誓って女子マラソン（視覚障害T12）に臨んだ道下美里（三井住友海上）。歓喜の笑みを浮かべて先頭でゴールテープを切った。「幸せだな」。銀メダルだった前回リオデジャネイロ大会の表彰台で流した悔し涙は、うれし涙に変わった。

淡々と自分のペースを刻むうちに、ロシア・パラリンピック委員会（RPC）選手とのマッチレースに。30キロ地点で、伴走の志田淳さんはライバルのペースが下がったのを感じ取った。「いけるか」「いける」。あうんの呼吸でサポートをかけ突き放した。「最高の準備をして、思い通りのレースをできた」（道下）。悲願の金メダルに、3時間0分50秒のパラリンピック記録もついてきた。

中学2年の時に角膜の難病で右目の視力を失い、25歳で左目もほとんど見えなくなった。ダイエットで始めた陸上競技にのめり込み、中長距離からマラソンに転向して才能が開花した。「過去の自分を超えたい」。その一心で、たゆまぬ努力を続けてきた。体幹や筋力の強化のほか、故障予防のために栄養面の改善にも取り組んだ。会心のレースを終えても、「欲を言えばサブスリー（3時間切り）で終わりたい」と笑うほど。44歳の向上心が尽きることはなかった。

東京パラのために、拠点の福岡で数多くの市民ランナーと走り抜いた5年間。「最高の伴走者と最強の仲間がいたので、ここにたどり着いた。みんなで祝福したい」。表彰式では自身よりも先に、前半を伴走した青山由佳さんの首に金メダルを掛けた。仲間を思い、仲間に支えられて走った先に、栄光のゴールが待っていた。（JIJI.COMより）



## 3年生、2日のチャレンジテストに続いて6日に実力テストが行われました。

大阪府のチャレンジテストが終わったばかりで息つく間もなく、6日に3年生の校内実力テスト（1回目）が行われました。この日も朝から5時間連続でテストを受けたため、生徒らは相当疲れたようです。私の担当掃除場所に来る3年生は「あーしんどかったー」「実力が発揮できなかったー」「理科でできなかったー」と口々に叫んでいました。

採点結果はすぐに返却され、次回11月2日予定の2回目の実力テストの結果と合わせて、志望校決定に向けての判断材料とします。3年生のみなさん、ここから進路決定に向けて大きく動き出すので、一日一日を大切に過ごして行きましょう。



コロナ感染  
防止対策推進



外出控え



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

# 不審者侵入の避難訓練を行いました。

8日の6限目授業中に、不審者が校内に侵入した場合を想定しての避難訓練を行いました。放送が流れ教科担当の先生の指示で全員教室の窓側に移動し、後ろ扉を施錠するなど、不審者対応時の動きを確認しました。生徒のみなさんは気付かなかつたかもしれませんが、係の先生が不審者役となり校内を徘徊、管理棟会議室前でサスマタで担当の先生らが取り押さえる訓練も行いました。



## 【訓練終了後の校長の話】

今日の避難訓練は、「不審者対応訓練」でした。学校に「不審者」が侵入したとき、どのような行動をとる必要があるのかということを用意しておくための訓練です。

中学校に不審者が入ってきて生徒を襲うような事件は、めったに起きるものではありません。だからといって、これから絶対に起こらないともいえません。

実は今から20年前、みなさんが生まれるずっと前に、隣の寝屋川市にある池田小学校に、包丁を持った男が侵入し、子供や先生を追いかけ回して8人の命を奪いました。このことは小学校の避難訓練で聞いて、覚えている人も多いと思います。地震や火事と同じです。「まさか」という時、どのようにして自分の命を守るか、日頃から意識し訓練しておくことが大切です。

きょうの避難訓練はグラウンドの状態が悪く、実際に避難はしませんでした。

もし、不審者が校内に入ったり、そのほかの緊急事態が起こったりしたときは、あわてずに、先生がいれば先生の指示に従ってください。登下校時など、まわりに信頼できる大人がいない場合には冷静に判断し、危ない人や場所には決して近づかない、場合によっては「子ども110番」など、地域の家などに助けを求めるようにして下さい。そして安全が確保されたら、学校に連絡して下さい。けっして「自分の力で何とかしてみせる！」などと過信しないようにしましょう。

## クラブ成績紹介

本校剣道部が以下の大会で優秀な成績を収めたので紹介します。よく頑張りました。



【大会名】北河内秋季大会

【日 時】令和3年9月4日（土）

【会 場】四條畷総合体育館

【成 績】男子団体の部 **優勝**

2年2組 神田 悠生  
2年3組 香川 武蔵  
2年3組 山口 琉星  
1年1組 吉田 淳平  
1年2組 久保元 達仁  
1年2組 馬場 優

女子団体の部 **優勝**

3年3組 柏木 泉咲  
3年4組 秋丸 野々香  
3年4組 山本 果穂  
3年5組 羽田 安佳里  
2年1組 魚田 柑奈  
2年2組 加藤 心菜  
1年3組 戸川 日香  
1年3組 前田 和澄

